

10月の言葉

憂きことのなおこの上につもれかし 限りある身のためさん

「熊沢蕃山」

この歌は江戸時代の儒学者「熊沢蕃山」の作とされています。

「悩み事よ来るなら来い。自分の力には限りがあるが、負けずに精一杯がんばるぞ！」という意味だ。アニメ「ドラえもん」で、ジャイアンにやられ続けているのび太に、のび太のパパが拳を握りながらこう訴えました。

ピンチはいつぱいやってくる。しかし、そのピンチに負けてしまつては、次にくるべきチャンスには出会えない。この試練は、来るべき喜びを何倍にもしてくれる。

そう、「ピンチこそチャンス！」

ドラえもんは、のび太に未来の自分のことを聞かれたとき、こう答えています。「一つだけ教えておこつ。君はこれからも何度もつまずく。でも、そのたびに立ち直る強さも持っているんだよ」と。これは、私たちみんなに向けられたメッセージではないでしょうか。自分から困難に飛び込むぐらいの勇氣を持って、ピンチを楽しもうではないですか。

「神無月」（出雲地方では「神有月」と呼びます）

* 「追記」ドラえもんの映画結構泣けます。